

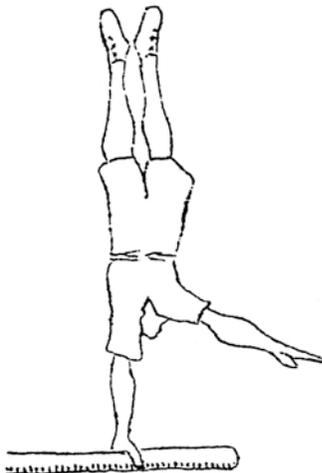
先日、老父ヤーンは  
天国の窓を開けた  
そして地上へと目を走らせた  
人々が何をしているかを見るために

まずその目はちらっとだが  
ドイツの戦場へと向けられた  
顔に笑みを浮かべながら考えた  
奴らは無駄な戦いをしては駄目だなと

さらに見回して行って  
一瞬ぎくつとした  
そこの日本でしているのは何だ  
体操クラブではないのか



そうなのだ。そこにはオイヒラーがいる  
まさにその名に相応しい人なのだ  
実技を行うには理論がいる  
明らかな体操の才能が

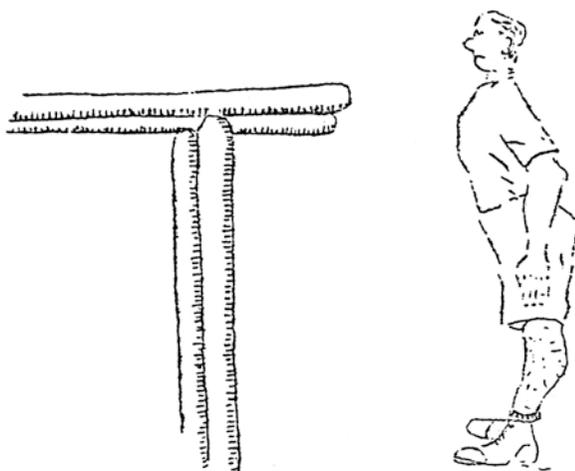


平行棒での素晴らしい演技

あれはフェルヒネロスキーに違いない

この人のことは、すでにドイツ時代から知っている

クレメンス、君の熱意がとてもうれしい

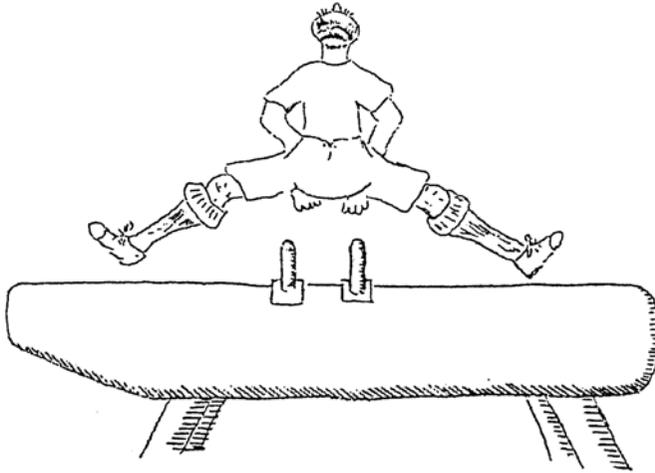


誇りに満ちた足取りで、すくっと

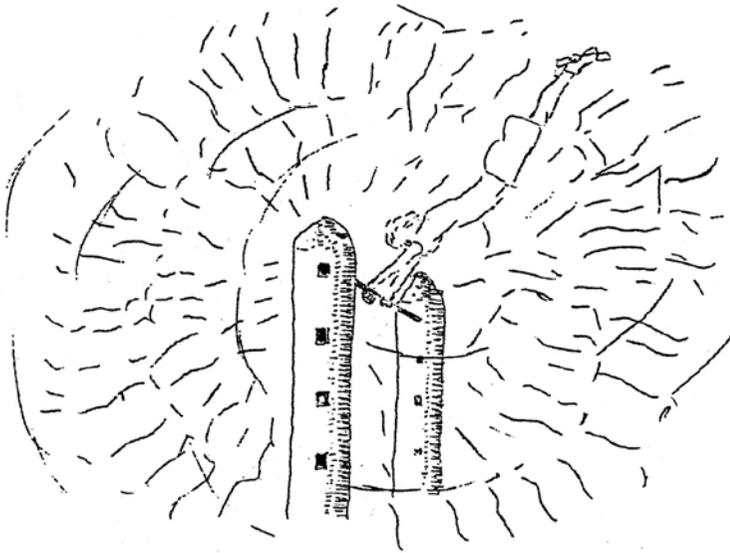
ズボンの縫い目に指を当てて

今、バルクホーンが器具に近づく

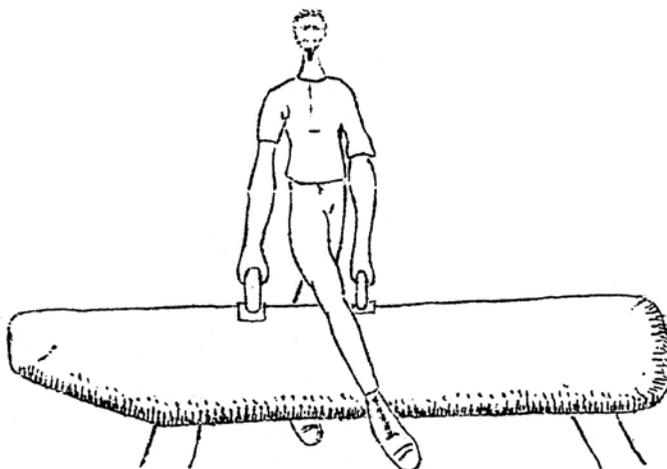
体操がどのようなものかを示すために



ここでもうひとり有名なのは  
かつてのザクセン国出身のクルト・レッチュ  
鞍馬に飛び上がり、脚を開く  
何と素晴らしいことだ



グスタフ・ルドルフにとっての一生の目的は  
高い鉄棒なのだろう  
大車輪は絶品であり  
心躍るような演技をする

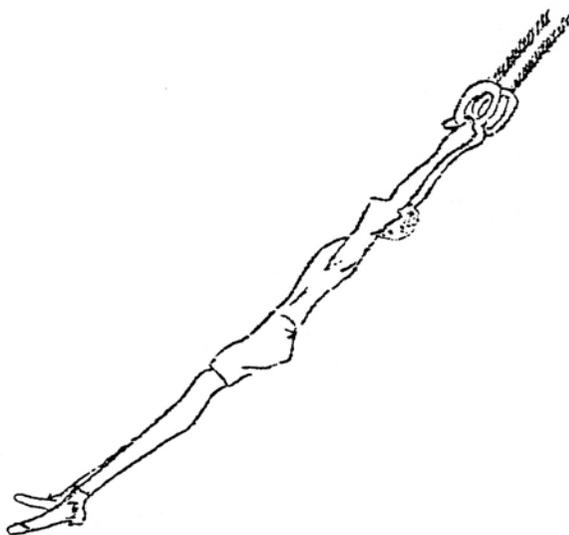


長身のこの男は誰だろう

それはわがムックス

勤勉な器具の番人よ

ご機嫌よう、君はとがった髭をつけている

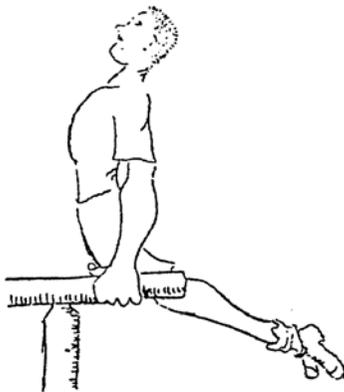


バイエルンの平野から

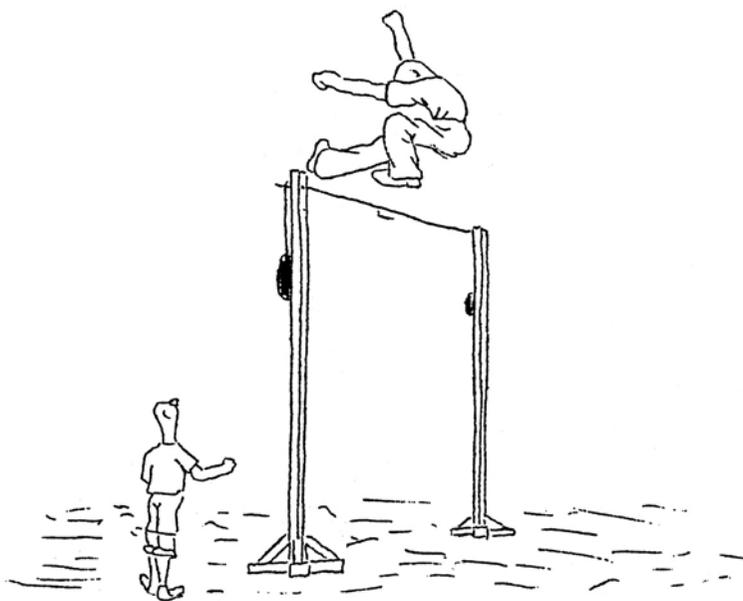
野蛮なアジアへやって来た彼は

文句を言いながらもやる人というあだ名があるが

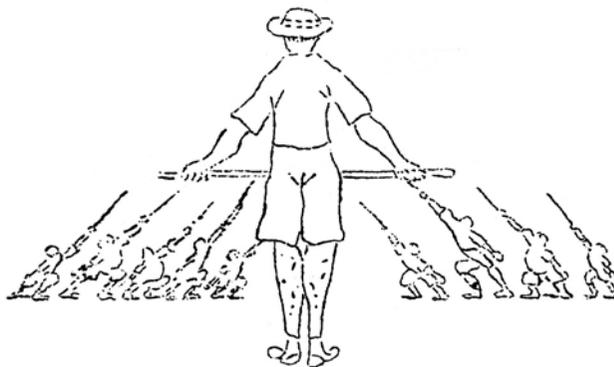
今はレスリングに夢中なのだ



ここにももうひとり、目につくのがいる  
かん高い声のハルクスのようだ  
第三の体操チームに教えてくれた  
大事なのは、姿勢だということを



もうそんなに若くはない人が  
そらそのクラウス軍曹  
しかし、この人はきっと、まだ若いつもりなのだ  
というのも、あのジャンプは決して悪くないから



大きな尊敬と敬意を

この年配の人々は呼び覚ます

思うにそれはもっとも素晴らしい体操チームであり

プリンツという人物が彼らを繰り返し勝利へと導く

そう全体のリーダー

体操コーチ、ヤンセンの登場

彼の一声で器具が用意され

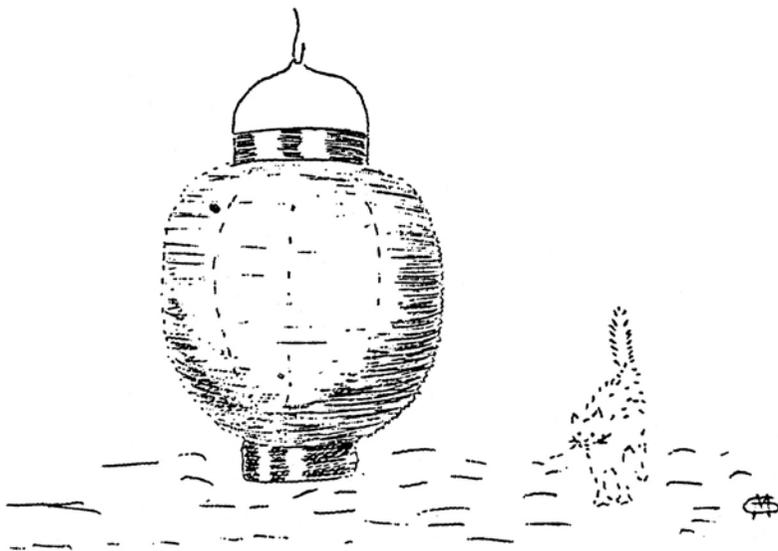
みんなが素早く彼のもとに集まってくる



専門知識とあふれる勤勉さで  
彼は残った汗まで拭きとってしまう  
そこで何人かは考えるのだ  
こいつはいじめだと

しかし、最後に「解放」という声が響く  
どんな恐ろしいことにも終わりがある  
今や緊張が通りすぎ  
みんなは感じるのだ。新鮮で穏やかで楽しく自由だと

父なるヤーンは安心し  
天国の窓をまだ閉じた  
髭の間から満足のハミングが漏れる  
これが若いドイツの正しいあり方なのだと



オイヒラー軍曹のヤーン祭についての最初の報告で言及された開会の辞は、次のような内容だった。

世界の戦闘の混乱から遠く離れた場所で  
4年間、敵国が我々を俘虜にしている

我々は沈黙し、苦情を聞き届けることもない  
誰にも運命が加えられる

祖国は強さにおいて、我々より先行する  
耐え抜くことができないドイツ人はいない

「皇帝と帝国のために」—我々の合言葉は  
チンタオ人の心の中で永遠に生き続ける

当時はあまりすることもなかった  
さあ、平和な競技で勝利を勝ち取ろう

身体を鍛え、気力を回復させる  
これが今は我々の一番の義務であろう

偉大な物事を支えることが必要である  
力強い男だけが祖国に役立つのだ

だから我々は男らしい力を鍛えよう  
我々の体操の目標がそうであるように

いずれ訪れる窮地のために身体を鍛えることが  
ヤーンの時代以来の鉄則だった

鷲が羽をかきむしることがないよう  
強権を用いる必要もある

我々の手足が錆びついてはいけない  
時間が誰にとってもまだ重要な問題なのだ

こうした目的への途上においては  
体操とスポーツ競技が転機であるかもしれない

収容所の記録者は、この祭りについて『バラッケ』第22号で愉快に報告している。

体操の父ヤーンが8月11日の夜に（もちろんその間だけでも）板東で、自分の誕生日を祝うために集まった弟子たちの輪の中にもしいたとしたら、どんなに喜んだであろうか。

本物の体操の空気が、その夕べの祭りに相応しくしつらえられた第2練習場の体操コーナーに広がっていた。体操仲間ヴェーゲナーの活気に満ちた開会の辞と、体操仲間フレーゼによる詩の朗読が、大喝采を博した。その他、別の楽しみにもたっぷり配慮が払われ、鞍馬の上のピラミッドとガス噴射機をもった巨大な動く大理石の群像という生きた彫像も登場した。疲れを知らない海軍砲兵隊音楽隊とともに、とりわけ体操チームがサービスを提供した。年齢や職業や体型からいっても初めからそれに適していたわけではないようなおじさんたちが、大変な勇気とスマートとさで色鮮やか

な紙提灯の光の中で、バトンの輪舞をしたりピラミッドを作ったりするのを見るのは驚きだった。けれども、次に彼らが集まり、威勢のいい声を張り上げ、つまり力強い多声部のコーラスを響かせると、あふれる拍手がそれに応えた。その後で自分自身もその夜の成功に役立とうと、幾重もの「万歳」に包まれて、もちろん仲間のハイルが自家製のリュートをもって現れた。見事な式辞の中で北極探検家ナンセンにも触れたのは、本物のドイツ体操選手の多能さの素晴らし証明だった。飲んだのはちょっとアルコールの入ったバームチットなのに、何人かの人々の間では楽しい気分が高まった。ことに家を離れられないあの老人の2人の連れ子を羨ましがったので、彼らは父ヤーンの集いを翌晩、フィリップ父さんのところで繰り返さなければならなかった。奇妙なことだが、羽目を外したり、はしゃぎ過ぎたり、常時人を殴ったり、許可がないのに小屋を使い続けたり、その他、何か特別なことをするためなら、何人かの人々は喜んで営倉に入った。

ヤーン祭は終わった。

我々の体操部門はその後、多くの体操従事者の活動が鈍化することにより、第三の新たなグループ分けが必要となった。この鈍化の原因は今年になって盛んにプレーされるようになったシュラクバル（ドイツ式野球）である。この競技は最近のより楽しめるスポーツとして真面目で厳格な体操より宣伝効果もあり、我々も夢中になっている通りである。さらにこの時期、シュラクバル優勝盾を目指しての対戦がなされるようになった。多数の体操従事者もシュラクバルに熱中し、チームから自分のポジションでの出場を拘束されるようになったので、いくつかのチームは大幅に人数が減る事態も避けられなかった。この激しい競技に勧誘され、それによる欠席を詫びる人もいた。

それゆえ、体操コーチにより招集された体操教師会議で次のような新たなグループ分けがなされた。

定期的な体操者

<u>第1チーム</u>	<u>第2チーム</u>	<u>第3チーム</u>	<u>第4チーム</u>
<u>ルドルフ</u>	<u>プリンツ</u>	<u>バルクホーン</u>	<u>オイヒラー</u>
フェルヒネロスキー	ボンクール	バウアー	ビショフ
フレーゼ	クロイツァー	ハンガー	シュルツ曹長
フェター	マロン	リンデンベルク	シュタイネマン
フォラント	ゴルトアマー	ソバトカ	シルク
クナープ	シュマーレンバッハ	ロソ	デナー
メンケ	ハンゼン	バルム	ケンツォラ
マイ	ゼーゲルケン	ヤンツェン	ヘーリング
フレンダー	ボック	メラー	ミールスヴァ
キューネ	シュルゲンス	ハック	ルッセ
ヴォルフ	R. コッホ	ヴィッヘルハウス	v. コステノーブレ
プレス	ケッターマイヤー	オイルナー	ドロピエフスキ
	ムックス	クレーマー	ハーゲマイヤー
	ハルクス	レツチュ	シュタイル
	リュッシュ	オール	クラウス
	ハインク		ヴィンクラー

第5チーム: ルフ、シュタール、オーレン、ホルトキャンプ、ライディヒ、ヘルム、コルヒ、フィンク、シュミーデル、パプロート、ベンシュ、グラデンガー、ルドルフ、フィッシャ、メラー 曹長

第6チーム: ガックシュタッター、ヘイト、フーバー、ヴェルター、ヴェネヴィツ、L. ミュラー、ティム、ドロステ、ベーマー、ウルブリヒト、W. マ

イヤー、オフアーマン、ハイゼ、ヒツツェマン、ツイマー

定期的に参加できない他のすべての体操従事者は、都合のいいチームと一緒に体操すること。

板東 1918年10月6日

体操コーチ

不定期の参加者: クーフス、ベーヴィング、ヴァルター、ヴェーゲナー、ケーラー、ショッペ、ヤンセン、ディーボルト、レトラー、ヘルテル、シュテファン、シャルフ、グラウル、ミュラーズ、ファイスト、クルツケ、キステンブリュッガー、レマクルス、ガイアー、リンデマン、ローデ、バルトス、シューベルト、ケンプフ、ヴォルムス、シュネコ、キルシュ、シュタイネルト、シュタント、ペルニー、ミュラー F. レーガー、ポート、グロスマン、フィードラー、ユンカー、クルーゼ、ホーン、ブルホープ

第二中隊から新しいチームがボックスのもとに作られたが、このチームは我々の体操教師の指導を居心地がいいとは思わないように見えた。器具を使えるようにするための申請は、この会議で異論は出されなかった。しかし小規模なグループの方が居心地がいいと思っていた人々にも自由に使えるようにするべきところなのだが。残念ながら、この小規模のグループはあまり長い生活力を享受しなかった。

7月25日に体操コーチのもとで開催された指導者会議において、ヤーン祭の内容が確定したあと、この年の秋に収容所体操祭が体操競技会として実施されることになった。この競技会にはクラブに所属するメンバーだけではなく、メンバー以外の参加も要請されることになった。体操の順番

の編成、演技の編成がスポーツ委員会から専門の委員会に委ねられたが、その委員会にはレンケル、E. アルプス、そして我々の体操コーチが属していた。この委員会によって、以下のような演技が編成された。

#### 規定演技 第1グレード

**鉄棒：a. 振りの演技** 静止した懸垂から片逆手握りでの懸垂。後ろ振りの最後で後方への懸垂回転。すぐに両足のかがみ跳び。体操器具を背にして後方へ逆上がり（「クロス蹴上がり」）。— 後方へ降下、両足かがみ跳びと跳躍。自由な腕支持回転。一時開脚直立。開脚足付け4分の3回転。腰をしっかりと伸ばして前方へ跳び、鉄棒を背に着地。（演技の接続はよどみなくなくなければならない）。

**b. パワー演技** 順手握りから脚の前挙げ。同じ腕での支え。逆手握りへのチェンジ。片腕での水平支持。体を下ろして支持。順手握りへのチェンジ。前方へ降下、水平懸垂から伸身懸垂。両脚を上げて振り懸垂。後ろ向き伸身懸垂。片手を離して反対の腕の周りに全回転、前向き伸身懸垂。跳躍して着地。

**平行棒：a. 振りの演技。** 平行棒の端に立ち（顔は外向き）、逆上がりして伸身支持。片足を平行棒の端ごしに後方へ開く。上腕蹴上がり（「落下蹴上がり」）。後ろへ倒れて上腕懸垂、後方回転して上腕懸垂。後方回転して屈腕振り。前方振りの最後に屈腕飛び越し。屈腕振りから外向き静止、中へ4分の1回転して前向き側方支持。腕を伸ばし、平行棒前方越しに転向、平行棒を背に着地。

**b. パワー演技。** 平行棒の端で前向きに立ち、両脚を前方にそろえて停止。前方にゆっくり回転し、前向き水平伏臥。体を沈めて上腕懸垂。両脚を前方に伸ばしたまま平行棒の下に肘支え。片手を内手に握り替え。中へ4分の1回転して前向き側方懸垂。足を割って倒立懸垂。腕で体を支え

てから横向き屈腕支持。側方水平懸垂から後方へゆっくり回転、中へ4分の1回転して片腕で水平支持。後方へ跳び下りて平行棒の横に前向き着地。

鞍馬： a. 振り 鞍馬横に向いて立つ。体を水平に浮かせ、両脚を抜いて前方支持。足を下ろして後方支持。右足を後ろに伸ばす。左右に横向きはさみ足。左足を後ろに伸ばす。周回飛び越し。鞍馬の前と後ろで上向き横飛び越し。

b. フリー演技 演技は四分の四拍子で、1拍目（第3, 4, 5, 8小節では2拍目も）に行う。

注:第2、第3、第4拍（第3, 4, 5, 8小節では第3, 第4拍）では静止姿勢。

つまり 1 2 3 4 2 2 3 4 3 2 3 4 4 2 3 4

5 2 3 4 6 2 3 4 7 2 3 4 8 2 3 4 である。

1. 左足を横に置いて右方向に後傾。右腕を横に挙げ、左腕を曲げる（肘は肩の高さに、こぶしを右肩の前に）。両手はこぶしを作る。
2. 左に4分の1回転して左足を曲げて前傾。右腕を斜め下に下ろす。左腕を斜め下に伸ばす。
3. a. 左足を後ろに戻す。体重を伸ばした右足にかけ、左腕を高く上げる（指先は伸ばす）。 b. 曲げた右脚を軸に体を水平にし、両腕を横に広げる。
4. a. 軸足を伸ばして体を起こす。左脚を前方に振り上げ、両腕を下ろす。  
b. 両腕を前方へ振り上げる。
5. a. 左足を下ろし、両腕を下ろして着座姿勢。 b. 両足を後方に伸ばし、前向き横臥。
6. 右へ体をひねり器具を背に横臥。
7. 右へ半回転して前向き横臥。
8. a. 両足を引き寄せて着座姿勢。 b. 体を起こして元の姿勢に  
(演技は左右入れ替えて再度演じなければならない)